

令和5年度 府立洛西高等学校 学校経営計画（スクールのマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 確かな学力を身に付けさせるとともに希望進路の実現を図る。</p>	<p>1 学校の教育活動はコロナと向き合いながら、常に戻すことを念頭に置いて進めてきた。高等学校学習指導要領及び一人一台端末の初年度に当たり、試行錯誤ではあったが、徐々にICTの活用による授業改善や教育活動の活性化を進めていくことができた。 卒業生の進路状況については、国公立大学への進学者が前年より増加し、希望進路の実現についての成果を収めることができた。最後まであきらめず粘り強く取り組むよう指導を進めてきた成果に表れた。 令和5年度は特に総合的な探究の時間の充実や洛再Linksの一層の充実を図り、生徒の自ら学び探究する姿勢を醸成し、将来の進路実現につなげていける取組としていきたい。また引き続き土曜活用や3年間を見通した系統的な進路・学習指導を行っていく。</p>	<p>1 一人一人の生徒を大切に、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を推進し、生徒に高い努力目標を持たせながら、その希望進路を実現させるとともに、新学習指導要領の円滑な実施、観点別評価の活用及びICTの活用による教育活動の充実を図る。</p> <p>(1) すべての学年において、ICT活用を一層推進し、特に第1・第2学年の一人一台端末による教育活動を推進する。また学習指導に当たっては、基礎基本の確実な習得、生徒が主体となって学ぶ授業への創意工夫、教員相互の授業交流を充実させる。</p> <p>(2) 総合的な探究の時間の充実や洛再Linksの組織的な実践等により、地域や社会とつながり、自ら課題を発見し他者と協働しながら活動する力を身につけさせ、自らの在り方生き方を考えさせる活動の充実を図る。</p> <p>(3) 学習・部活動・学校行事等にも全力で取り組む学校文化をさらに醸成し、そのような活動をとおして豊かな人間性を育むとともに、主体的に行動する力を高める。</p> <p>(4) 生徒指導が学校教育の土台であることを念頭に、温かさの中に厳しさのある生徒指導を推進する。基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生徒の育成を目指す。</p> <p>(5) 各分掌、教科の連携のもと、特別な支援が必要な生徒には合理的配慮をして、社会的自立に向けて個に応じた支援を進める。</p> <p>2 本校の魅力を発信し、府民、地域、保護者、中学生等からの信頼をさらに高める取組を推進し、学校説明会の充実や新たなツールの活用を図りながら、本校を志願する中学生の一層の増加を目指す。また、中学校訪問の機会を増やし、タイムリーな情報を提供する</p> <p>3 引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、教育活動の充実を図る。</p>
<p>2 部活動・自主活動の充実・活性化により、豊かな人間性を育み質の高い集団作りを行う。</p>	<p>2 部活動、洛西フェスティバル等の学校行事は、ほぼコロナ前の取組に戻し、充実を図ることができた。特にイオンモール桂川で実施したオープン文化祭は多くの府民、中学生、保護者に本校を知っていただくよい機会となった。今後も総合的な探究の時間、洛再Links、学校行事、部活動等を一層活性化させ、生徒に在り方生き方をしっかり考えさせ、豊かな人間性を育む取組を充実させていく。</p>	
<p>3 保護者、地域の方々から信頼され、期待される、魅力ある開かれた学校づくりを実現する。</p>	<p>3 今年度の入学者選抜では、前年より志願者が減少した。様々な要因が考えられるが、今後も地域・保護者・中学生等からの信頼をさらに高め、本校の教育活動を広く知ってもらえる取組をより充実させる必要がある。そのためにホームページのリニューアルやオープン文化祭の充実を図るなど、広報活動、発信力の一層の強化に努める。</p>	

成果と課題

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議の連携を図り、学校運営を組織的に進める。 生徒・保護者・地域社会からの期待に応え信頼される学校作りを一層推進し、本校の教育活動についての特色や魅力に関する情報発信を積極的に行う。 生徒の教育環境の充実に向け、適切な予算執行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 部長会議を中心とし、各種会議にて課題に応じた組織的な検討を行う。 各種会議での検討内容を全教職員で共有し、共通理解のもと組織的な取り組みを進める。 学校内外で実施する本校の説明会や広報誌、ホームページなどの内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を積極的かつ効果的に広報する。また、Classiを活用し、日々の高校生活等について生徒や保護者等へ適切な情報提供に努める。 洛再Links等におけるボランティア活動等を通じ、地域とのつながりを大切にするに努める。 危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な学習環境を整えるとともに、施設設備の充実を図る。 生徒の個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い就学支援等の充実を図る。 	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>各種会議は定期的な開催と必要に応じた開催により、情報共有するとともに、組織的な取り組みと対応ができた。</p> <p>一方で従来の組織を変化させて対応しなければならない難しい教育課題も生じているため、柔軟な対応が求められている。</p> <p>年度当初よりホームページは頻繁に更新がなされ、新たにInstagramも開始して広く情報発信できたものと考ええる。さらに生徒や保護者、また中学生とその保護者など府民にも本校の魅力を伝えるためにも、ホームページを含め、情報発信の在り方をさらに工夫する余地があると思われる。</p> <p>Classiは昨年以上に利用され、学校と生徒・保護者との重要な連絡ツールとなっている。</p> <p>洛再Links活動は今年度も活発に活動し、地域から大きな期待を寄せられている。今後も本校の特色化の軸となるよう学校全体で組織化していく必要がある。</p> <p>危険箇所の早期発見・修繕を施し、安心安全な学習環境を整えることに努めた。</p> <p>奨学金等の情報提供を行い、就学支援の充実を図ることに努力し、一定の成果があったと考えられる。</p>

各分掌

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題	
教務	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒の学力向上につながる授業を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「指導と評価の一体化」の趣旨を踏まえ、観点別学習状況評価のよりよいあり方を研究する。 ICT機器を活用した授業を一層推進する。 「総合的な探究の時間」を「主体的で対話的な深い学び」の中心的役割を果たすものと位置づけて、授業計画を他分掌と連携して策定する。 	<p>B</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>一人一台タブレット端末導入2年目を迎え、ICTを活用した授業実践も定着した。今後さらに、教科の枠を越えて情報を共有し、授業改善につなげたい。観点別学習状況の評価方法については生徒の学力伸長につな</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業週間を設定し、教科の枠を越えて、教員間で指導方法の研究を行う。 	B		B	<p>がっているかどうかを検証し、引き続きよりよい方法を模索する必要がある。</p> <p>本校に関する情報発信については校外での学校説明会や個別相談会でその魅力を伝えることができた。学校行事は概ね新型コロナウイルス感染症流行以前の形に戻して実施したが、関係分掌とも連携し、生徒がより一層やりがいを持って取り組めるものにしていく必要がある。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生・保護者から選ばれる学校となるよう、本校の魅力を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自学自習の学習習慣と学校に軸足を置いた学習スタイルを確立させる。 	B			
		<ul style="list-style-type: none"> ・綿密な計画のもと、生徒が主体的に取り組める学校行事を行う。 	B		B	
		<ul style="list-style-type: none"> ・他分掌との連携を密にし、学校説明会やHPで、本校のコースの特色を積極的に伝える。 	A			
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が本校生徒であることに誇りと自信を持てるような教育活動を行う。 	B			
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立と規範意識の向上に努め、安全意識(交通安全・防犯・防災)の高揚を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常における挨拶や正しい言葉づかい、時間の自己管理を指導する。 ・ルールを理解し服装や頭髪等に対して正しい判断ができるよう指導する。 ・自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導を充実させるとともに、「4ない運動+1」を推進する。 ・スマホ使用のマナー、SNSやネットとの関わり方など情報機器の正しい使い方を指導する。 ・洛再Linksやボランティア活動への積極的な参加を奨励し、豊かな人間性を育むとともに社会との繋がりを強化できるよう指導する。 ・人権学習の内容を充実させ、一人一人の意識を高め人権が守れる集団となるように指導する。 ・部活動や学校行事、特に洛西フェスティバルの取組を通して、主体性や協調性を向上させられるよう指導する。 	B		B	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣、規範意識について大きな乱れはなかったが、スマホとのつき合い方、女子生徒の化粧、といった点では今後も継続的な指導が必要である。 ・自転車の事故自体は減少したがマナーについてはクレームも多く依然本校の大きな課題である。 ・洛フェス(文化、スポーツの部、オープン)、Links活動など積極的な取組を指導することができた。 ・いじめとして取り上げた事象もあったが、概ね落ちついた状態が続いている。 ・部活動については実績を残せる部は限られているが活動自体は活発であった。
進路指導	<p>個に応じた指導等により、生徒一人一人の進路を実現する。</p> <p>大学進学に関する具体的目標としては、国公立および難関私大への実合格者80人を目標としつつ、国公立大学、難関私大への合格者数、及び主に標準クラスからの難関中堅私大への合格者数を指標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の各組織と連携しながら、生徒が自ら将来像を描き、よりよい進路選択していくように促す。 	B	B	B	<p>校内で連携しながら、進学講習、進路行事等を通して生徒の進路実現に向けた取組を実施することができた。</p> <p>特に大学・社会人を活用した活動は内容の濃いものとなった。今後も生徒の学力伸長に向けた取組を継続していく必要があると思われる。また、令和7年度入試についての情報が公表され次第、逐次その収集・整理が求められる。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・発展クラス、標準クラスともに確かな学力を身につけて希望進路を実現するために、生徒への働きかけを講じるとともに、教科担当・担任への情報提供に努める。 	B		B	
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学ぶ姿勢を身につけるために、高大連携等を活用しながら、様々な刺激を与える。 	A			
		<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談を通じて一人一人の進路実現への助力 	B			

		をする。 ・大学入試等の動向について、適切な情報収集と対応を図る。	B	B		
第1学年	1. 授業を中心とした学習習慣を確立させ、学力の向上を図る。	教科担当者と連携を取りつつ、授業の予習・復習に丁寧かつ意欲的に取り組ませる。	B	B	<p>・多くの生徒が、主体的に学習しようという姿勢を身につけようと努めた。一方で学習に対する意欲や意識の低さが目立つ生徒もいる。次年度はコース別にそれぞれの目的に合わせた深い学びができるよう、引き続き指導していく必要がある。</p> <p>・科目の授業だけでなく、総合的な探究の時間やホームルーム活動を含め様々な場面でタブレット端末を活用することができた。</p> <p>・基本的な生活習慣を身につけさせるための指導のもと一定の成果は得られた。自転車に関する重大な事故もなかった。上級生になっても下級生の模範となる行動ができるよう、引き続き指導の必要性を感じる。</p> <p>・何事にも一生懸命に取り組むことの大切さを学年全体として説きながら、他者との関係の中で自分を高められることを目指して指導した。次年度は学校全体を引っ張っていく学年としての意識を一人ひとりが持てるよう指導していきたい。</p>	
		定期考査に向けての計画・実践・反省を通して、家庭学習の重要性に気づかせる。	A			B
		ICT 推進担当と密に連携し、一人一台端末を積極的に活用して効果的に学習を進めるよう促す。	A			
	2. 自立した「大人」への第一歩として、きちんとした基本的な生活習慣を身につけ、礼儀や規律を守る態度を育てる。	生徒指導部とも連携し、時間遵守・挨拶励行の意識を醸成する。	B	B		
		自転車乗車ルールを守ることや身だしなみを整える意義を理解した上で実践するよう指導する。	B			
	3. 生徒が意欲的・主体的に学校生活に臨むなかで、互いを認め合い、高め合える質の高い集団づくりを目指す。	部活動や学校行事等に前向きに取り組み、互いに切磋琢磨しながら粘り強くやり切るように指導する。	A	B		
生徒が主体的にチャレンジすることで学校生活に充実感を感じられるよう、適切なサポートをする。		B				
第2学年	「想像力」「思いやり」「ほんの少しの勇気」を一年次に続いて学年のキーワードとし、お互いに助け合い、認め合い、高め合える質の高い集団づくりを目指す。	学校に軸足を置き、学習、部活動、学校行事等に主体的に取り組み、互いに切磋琢磨しながら粘り強くやり切るように指導する。	B	B	<p>・中核学年としての自覚を持ち、概ね落ち着いた学校生活を送ることができた。</p> <p>・文化祭では生徒たちが主体的に工夫を凝らし、新しい取組である「メディアミックスシアター」を成功させた。研修旅行ではひとりひとりが時間をよく守り、実り多い行事となった。体育祭や球技大会においても前向きに取り組む姿勢が見受けられ</p>	
		学校生活のあらゆる場面で、他者への配慮や思いやりの視点を持って行動するように指導する。	B			
		HR活動をはじめ、学校行事、委員会活動、研修旅行等において、生徒主体で準備や運営にあたる機会を設け、豊かな人間性を育み、質の高い集団づくりを行う。	A			

	「大人」への第一歩として、きちんとした基本的な生活習慣を身につけ、礼儀や規律を守る態度を育てる。	生徒指導部と連携し、きちんとした身だしなみや時間遵守、あいさつができるように習慣づける指導を継続的に行う。	B	B	<p>た。お互いを尊重しながら、やるべきことをきちんとやり遂げられる集団としての成長を感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみやあいさつ等の指導は今後もしっかりと継続し、社会に出る前の準備をさせたい。 ・学年独自の取組や進路指導部と連携しての諸行事を通して、進路目標を設定した上で継続的に学習に取り組めるように様々な働きかけを行うことができた。学習習慣に課題のある生徒も少なくないため、希望進路の実現を目指して学年全体で意識を高め、じっくりと腰を据えて学習に取り組む雰囲気づくり今後も継続していきたい。 ・日々の授業、学校行事、進路研究等、様々な場面で一人一台端末を昨年度以上に効果的に活用することができた。
	日々の授業を中心に置きつつ、家庭学習習慣を確立させ、学力の向上を図る。	授業の予習、復習等の家庭学習に主体的に取り組ませる。	B	B	
		日常の指導や面談、Classiの活用等を通して、自己の学習時間を把握し、主体的に学習状況を改善していく姿勢を養う。	B		
		進路指導部と連携し、様々な取組を通してひとりひとりが進路実現を意識した具体的な行動を起こせるように指導する。	B		
		1年次に引き続き、一人一台端末をさらに積極的に活用して効果的に学習を進める。	B		
第3学年	基本的な生活習慣の確立と模範意識の向上を図り、社会に貢献できる質の高い人間性を育む。	学年部での遅刻指導を継続し、卒業まで学校に軸足を置いた学校生活が送れるように細かな声掛けを行う。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間朝の校門指導を継続させることができた。その成果もあり、遅刻を繰り返す生徒は減少し、日常的に声掛けを行うことで、学校生活や進路関係の指導等もスムーズに行うことができた。身だしなみや挨拶等についても、最高学年として自覚をもって行動することができた。今後もその姿勢を崩さず、社会での活躍を期待したい。 ・洛フェス（文化の部）では、夏季休業中から熱心にクラス活動を開始し、42期生らしい演劇を完成させることができた。一方で、進路決定者を中心に、学校説明会のボランティアや探究活動、Links活動等への参加を促したが、参加する生徒はごく一部であり、自主的な活動参加と積極的に学ぶ姿勢の育成には至らなかった。 ・年間を通じて多くの生徒が模擬試験を受験したため、充実した進路指導を行うことができた。
		挨拶や身だしなみ、時間の厳守等、社会に出るために必要な常識について、自ら考え行動に移す力を養う。	A		
	最高学年としての自覚を持って、学習・部活動・行事・Links活動等でリーダーシップを発揮し、下級生の模範となるような生徒の育成を行う。	委員会活動や学校行事、HR活動など生徒達が自主的に活動したり主体的に学ぶ力を養う。何事にも失敗を恐れずに最後まで挑戦する力を育成する。	B	B	
生徒が志望する進路を実現させる。		進路実現のために、保護者に向けてもClassi等で情報提供を行う。	B	A	
		進路指導部と連携し、的確でタイムリーな情報の提供を行う。面談や日々の声掛け等を積極的に行い、生徒一人一人に応じた進路目標を決定させる。	A		
		積極的な模擬試験の受験を促し、分析後、進路指導に活かす。	A		

						<ul style="list-style-type: none"> ・総合型選抜や推薦入試を積極的に活用し、年内の国公立大学合格者11名という成果を上げた。現在も発展クラスを中心に多くの生徒が国公立大学や難関私立大学への進学を目指し学習に励んでいる。進路指導部と連携し、一人一人に応じた進路指導を実現させている。
保 健	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人を大切にす、学校経営計画に基づく様々な教育活動の支援 ・特別支援教育の充実 ・学習環境の整備と充実 ・学校保健会議の活用 ・感染症防止への対策に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健管理や保健指導を計画的に実施する。 ・不登校等の未然防止や学校生活に支援を必要とする生徒への早期対応をはかる。学年部や関連分掌と連携し、兆候を早期に把握し、必要な手立てをとる。 ・特別支援教育を充実させるための具体的な方策を立てる。 ・安全点検や清掃用具等の点検整備を進める。 ・各種検査を活用し、教育活動に係る環境整備を進める。 ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携を大切に、学校運営に活かす。 ・手洗いや換気等、感染予防を徹底すると共に、事務部と連携し、消毒等の環境整備に努める。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談会議を通じ、校内で必要な情報を共有し、生徒指導に役立てることができた。引き続き生徒の状況把握に努める必要がある。 ・支援の必要な生徒には外部機関と連携をとったり、教科担当者会議や定期的に生徒情報を提供してもらったりして、教職員の中で情報共有し対応することができた。 ・各種検査を実施することができた。今後も事務部と協力して環境整備を進めていきたい。
図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営計画に基づく教育計画や教育指導への支援を充実させる。 ・自主的に読書に親しむ生徒を育て、読書を通じて豊かな人間性を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究型学習、調べ学習、図書館利用学習への直接的支援や援助を行う。 ・学校行事や人権学習等の取り組みに積極的に協力し、特別展示などを通して啓発活動を行う。 ・教育的効果を考慮した団体鑑賞を実施する。 ・学校行事のビデオ撮影を行い、学級活動等に提供する。 ・図書委員会の活動を活性化させ、自主的な取り組みを増やし視覚的にも楽しい図書館にする。 ・図書館ニュース、新着図書案内、洛西選書等を発行する。特設コーナーや季節のイベントを充実させ、読書の啓発に努める。 ・図書館管理システムによる蔵書管理を効果的に行 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用学習への直接的なサポートは充分に行えたが、図書館利用者数や貸出冊数については減少傾向にある。BYOD環境（端末活用方法の提案とWi-Fi環境の整備等）を充実させるとともに、授業での図書館利用を促進していきたい。 ・団体鑑賞の生徒評価は7割以上が「満足」で好評だった。 ・図書委員会の活発な活動を支援できた。図書館公式Instagramを開設し、有志生徒で「インスタ倶楽部」を発足させ、図書館の様子や魅力等を発信し続けた。 ・読書週間ではARを用いた企画を考案し、視覚的にも楽しい図書館を実現できた。 ・『洛西選書』や広報紙の発行・装

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・保護者・中学生等に積極的に広報する。また、外部の公的機関等との連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> う。 ・ホームページやSNS等を通じて広報、情報発信を行う。 ・公共図書館との連携を深める。 	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 飾や展示等を通じて、生徒の読書活動の啓発に努めた。また、ホームページでも頻りに図書館の活動を発信することができた。 ・府立図書館と連携し、電子書籍等サービスを今年度も導入することができた。
総務企画	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒募集に関して、本校の魅力や求める生徒像を、さまざまな機会を活用し、中学生及びその保護者、地域にわかりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内外で実施する本校の説明会や広報紙、リニューアルしたホームページ等の内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に発信する。 ・Instagramによる発信を試行する。 	B			<ul style="list-style-type: none"> ・本校や塾、中学校等の説明会において、積極的に発信した。 ・Instagramにおいては、週に1度の発信ができた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・在校生及びその保護者に適切に情報提供をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌、教科、部活動と連携して生徒の日々の活動を記録に残し、さまざまな広報にも活用する。 ・ホームページの更新頻度を高めて内容を充実し、必要な情報をタイムリーに提供する。 	A	B		<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の記録を、広報に積極的に利用した。 ・新しいホームページの活用について、これから考えていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA、地域の方々との関係を深め、信頼される学校作りを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの連携を深め、PTA総会をはじめとする各種委員会の活動、諸行事が有意義なものとなるようにバックアップする。 	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの各業務をしっかりと実施できた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・府立高校特色化事業等の取組などを通して、生徒の社会科学的視点、国際的な視点等を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年部、教科と連携して「グローバルネットワーク京都」の取組を積極的に推進し、年度末の発表会に向けて準備を進める。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「グローバルネットワーク京都」の取組を推進し、交流会においてしっかり生徒が発表できた。
ICT推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して日々の公務を効率的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内サーバー、校務PC、タブレット端末等を適切に管理運用する。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 学習用端末の導入も2年目に入り、比較的スムーズに生徒へ配備ができた。また、Goodnotesの導入により、生徒の学習環境を向上させることができた。次年度以降は全学年が学習用端末を持つことになるため、授業での使い方、新たな学習アプリの導入等を検討する必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して授業・学習活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい授業づくりリーダー育成研修」での成果も取り入れつつ、各教科と連携しながらICTを活用した効果的な学習指導の方法をさらに研究する。 	B	A		
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一台端末の効果的な導入法、活用法をさらに研究する。 	A			
事務	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の個性と能力、可能性を伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い、修学支援等の充 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育活動に何が必要かを教職員と連携して検討し、有効で適切な予算の執行を行い、必要な物品等は速やかに購入する。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員との連携を意識し、適切な予算執行を行った。 ・生徒の安全を最優先とし、危険箇

	実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な教育環境を整備するとともに、施設設備の充実を図る。 	A		所の改修を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校に案内されてくる多種多様な奨学金について、ホームページ等を活用し、情報提供を行った。
		<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な奨学金制度について本校のホームページを活用し、情報提供を行うとともに、円滑な事務処理を行う。 	A		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域の方々から信頼されるように外部と接触する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や窓口業務の対応で、保護者や地域の方々から信頼されるように言葉遣い等に留意する。 	B		

学校関係者評価委員会からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携である洛再Links活動のさまざまな取組は充実してきているので、さらに発展させてほしい。 ・志願者を増加させるために、中学生・保護者へ地域連携も含めた本校の具体的な魅力を発信し続けることが重要である。 ・今年度の進学実績は一定の成果があり、その要因の一つは学習環境の良さである。その点を十分にアピールすることを望む。 ・自転車事故防止に向けての継続的な取組を進めてほしい。 ・在校生が日々の高校生活に満足することが、本校の魅力を外部へ発信する一つとなることから、在校生の声をアピールに活かす工夫を求める。 ・洛再Links活動のように、生徒が主体的に取り組み、自ら地域・社会の課題を発見し解決の糸口を探ることが重要である。社会とつながる活動をさらに学校全体の教育活動に広げることにより、生徒の自主性が一層育まれることを期待する。
------------------------	--

令和6年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・本校を理解した上での志願者を増加させるために、ホームページに加えて令和5年度より新たに開始したインスタグラム等も活用して、学習活動・部活動・学校行事・洛再Links活動など、学校生活の積極的な情報発信をさらに強化していく。 ・令和6年度は、1人1台端末を全学年の生徒が所有することとなり、ICTを活用した教育の展開を一層推進するとともに、情報モラル、情報リテラシー等についての指導もさらに進める。 ・生徒1人1人の進路実現のために、自習室の充実など、学習環境の改善に努める。 ・洛再Links活動は地域との連携を重視する本校の教育活動として重要なものである。令和4年度に設立したLinks同好会は、令和5年度も順調に活動し、地域の方々からも引き続き好評を得ている。今後も全教職員の取り組みのもとで洛再Links活動をさらに充実させていき、進路実現に活かすことができるようにする。 ・「総合的な探究の時間」について、校内体制を大きく変更し、生徒の進路実現につなげて学校全体の活力を高める。 ・自転車事故防止、通学マナーの向上等について、教職員と生徒・PTA、地域や行政とも連携して取り組みを進めていく。
------------------------	--